

陸上競技

日時 平成28年7月2日(土) 9:00
会場 秋田県立中央公園 陸上競技場

競技役員

総務員	南都 勲	佐々木 勝利	武石 林太郎				
技術総務	石川 傑 惣						
ジュリー	北林 強	岸 肇	高橋 周悦				
審判長	山村 拓						
アナウンサー	二木 聡子 渡邊 慎太郎	金 敬子	金森 道	三浦 裕恵	長沼 祥子		
記録情報処理	齊藤 芳徳	羽角 陽一	伊藤 賢悦	小南 朋美	保坂 麻衣		
番組編成	藤澤 陽潤						
マーシャル	菅原 偉文 鈴木 芳郎	関後 富雄 藤 美晴	高橋 則夫 渡辺 裕貴	斉藤 清作 草 彌 猛	伊藤 久美香 鈴木 芳也		
競技者係	鈴木 俊光 斎藤 法生	草 彌 雷一 菅 芳 信	山田 幹隆 木 村 隆	五十嵐 綾子 黒沢 吉実	伊藤 繁美 本館 久男		
役員庶務係	加藤 政雄	虻川 慶市	戸嶋 悦男	渡辺 久人			
表彰係	武田 真由美	原田 富夫	土屋 紀生	渡邊 朋雄			
風力計測員	川村 鋼輝	藤田 永孝	小野 長				
用器具係	佐藤 清美 山内 輝誠	石黒 紀秋	熊谷 昌行	佐々木 周幸	傳野 直樹		
決勝審判・計時員	笹部 兼一 阿 和 夫	花津谷 洋一 福岡 茂樹	川上 昌洋 村岡 洋志	黒沢 英章 成田 孝行	最上屋 靖一		
周回記録員	高橋 専紀 曾根 匡登	滝沢 清栄	田口 勇輔	土館 薫育	富樫 満		
写真判定員	伊藤 健一	佐藤 健一	藤原 光一	石垣 徹			
監察員	大友 清亮 須藤 秀雄 滝沢 茂喜	長谷川 勉 大山 清司 鳥海 雄一	菅 崇好 小出 暢 原田 藤進	三浦 欣語 佐藤 千代司	播磨屋 茂雄 佐藤 義雄		
スターター・リコーラー	菊地 昭彦 鈴木 拓実	鈴木 良則 岩崎 初音	小田嶋 信也 柿崎 愛理	加藤 貞純 小玉 絵梨子	今野 哲		
出発係	工藤 郁弘 小山 拓良 増田 浩司	片岡 孝彦 高野 正彦 斉藤 和男	工藤 清一 加賀屋 徹	武石 政彦 真崎 宏	遠藤 秀男 真崎 浩光		
跳躍審判員	畠山 幸司 渡辺 実	武田 真由美 木村 潤	菊地 亜紀 小玉 恒	黒澤 光栄 鈴木 光洋	丹尾 昭司 一條 絵美		
投てき審判員	杉畑 茂秋 加藤 一拓也	高橋 一成 阿部 孝裕 傳野 大	島田 勝義 渡部 晃	阿部 いく夫 進藤 恭孝	三黒 健悟 藤原 洋		
スタッフ係	菊地 亜紀	小野 長	畑澤 一利				

運営役員

総務委員長	池田 洋		
総務副委員長	中沢 吉博		
事務主任	伊藤 恵		
総務委員	菅原 英子	鈴木 祥子	
競技委員長	平石 広典		
競技委員	菅原 隆行	渡邊 朋雄	金澤 徳雄
医務員	工藤 悠子		

競 技 要 項

1. 競技種目
- 【男子】 100m 200m 400m 800m 1,500m
 5,000m 110mH 3,000mSC 4×100mR
 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
 砲丸投(6.0kg) 円盤投(1.75kg) やり投
- [17種目]
- 【女子】 100m 800m 100mH 4×100mR 走高跳
 走幅跳 砲丸投(4.0kg) 円盤投(1.0kg) やり投
- [9種目]

※ [注] アンダーラインの種目は全国大会にない種目である。

2. 競技人員 (1) 監督1名, コーチ1名, マネージャー1名
 (2) 各校1種目3名以内, 1人2種目以内
 (3) リレーは1校1チーム, 6名以内
3. 競技規則 2016年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則による。
4. 競技方法 (1) 学校対抗とする。
 (2) 【男子】得点は, 1位8点, 2位7点, 3位6点, 4位5点,
 5位4点, 6位3点, 7位2点, 8位1点とする。
 【女子】得点は, 1位6点, 2位5点, 3位4点, 4位3点,
 5位2点, 6位1点とする。
 (3) 最多得点校を優勝とし, 同点の場合の順位は上位入賞種目の多い学校を上位とする。
5. その他 (1) 招集について
 ①競技者招集所は, 代表者会議の時に連絡する。
 ②代理人による招集は一切認めない。
 ③トラック、フィールドにまたがって同時に出場する競技者は, 自ら前もって競技者係に申し出、実施にあたっては, 両種目の審判員にその都度申し出ること。
 ④リレーに出場するチームは, その招集完了時刻1時間前にオーダーを招集所競技者係に提出すること。
 ⑤招集所から出発点、跳躍場及び投てき場に行く場合、必ず競技者係の誘導に従い規律ある行動をとること。
 ⑥招集時間に遅れた競技者は, すべて棄権とみなして取り扱う。
 ⑦競技者の種目ごとの招集時刻及び完了時刻は次のとおりとする。

区 分	予 選	決 勝
トラック競技	30分前(15分前)	25分前(15分前)
フィールド競技		跳 躍 40分前(30分前)
		投てき 50分前(40分前)
		棒高跳 50分前(40分前)

()内は, 完了時刻
 競技者は, 自ら招集時刻から完了時刻の間に競技者係による点呼を受け、ナンバーカード、スパイク等の点検を受けること。(スパイクピンの長さは9mm以下、ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。本数は11本以内とする。)

- (2) ナンバーカードについて
 ナンバーカードは次のとおりとし, 胸部、背部に付けること。
 ただし, 走高跳、棒高跳の競技者は胸部、背部の片方だけでもよい。
 八戸: 100～ 一関: 200～ 仙台名取: 300～
 仙台広瀬: 400～ 秋田: 500～ 鶴岡: 600～
 福島: 700～

(3) 番組編成について

- ①トラック競技の予選レーン順及びフィールド競技の競技順は、プログラム記載順に行い、以降の組み合わせは本部で行う。
- ②トラック競技決勝に出場するプラスアルファの決定は、写真判定（1/100秒）の記録順による。予定された人数を上回って同記録者がでた場合はすべて拡大写真により決定する。それでも同記録の場合は抽選とする。ただし、レーンに余裕がある場合同記録者の着差判定は行わず決勝に進める。

(4) 競技について

- ①リレーにおけるマーカー（粘着テープ）は各チームで用意し、各走者1カ所使用することができる。ただし、各チームはそのマーカーを責任を持って撤去すること。
- ②リレーに出場する場合は、チーム（4名）のユニフォームを統一すること。
- ③トラック競技の全種目では、順位判定のため、競技者係で渡す腰ナンバーカードを右側につける。

(5) バーの上げ方

走高跳、棒高跳の練習の高さ及びバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳(男子)	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	+3 cm
走高跳(女子)	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	+3 cm
棒高跳	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	+10 cm

第1位が同成績の場合順決定を行う。そのためのバーの上げ下げは走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。（全国大会出場権を決定する場合においても同様である。）

(6) 競技用器具について

使用する器具は、棒高跳用ポールを除き主催者側が用意したものとする。

(7) その他

- ①練習は原則補助競技場で行う。ただし、棒高跳は本競技場内で、投てきは投てき練習場で行うこととする。
- ②競技者は、競技場内（練習場も含む）に、企業名、商標名等のついた物品を持ち込む場合は、規定にあったもの以外持ち込んで서는ならない。また、携帯電話、ビデオカメラ等の機器を競技区域内に持ち込んで서는ならない。